

## 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

平成31年1月9日

協議会名:新城市地域公共交通会議

評価対象事業名:陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統)

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況 ①利用者数 ②収支率 ③利用者の満足度(1.0を基準値(普通)とし、0.8~1.2の間で数値が高いほど満足度が高い)の3項目で評価	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
豊鉄タクシー株式会社 西部線 (地域内フィーダー系統)	川田原滝~ 新城東高校	<ul style="list-style-type: none"> <li>・バスマップを各戸配布し、利用促進を図った。</li> <li>・利用者の声を聞くため、実際にバスに乗り込み、満足度調査を行った。</li> </ul>	<p>A</p> <p>市内で最も沿線人口・65歳以上共に最多となる西部地区を運行する本路線は、市中心部の市民病院などへの通院や買物等に出かけるための重要な路線となっている。事業は、計画どおり実施できた。</p>	<p>B</p> <p>①利用者数 目標3,585人/実績3,022人 →達成度84%</p> <p>②収支率 目標7.49%/実績5.90% →達成度79%</p> <p>③利用者の満足度 目標1.07/実績1.11 →達成度(基準値1.0との差 +0.11)</p> <hr/> <p>・主たる利用者 高齢者 ・利用者数の推移(対29年度比) (総 数) 3,022人(30年度)-3,019人(29年度)・・・3人</p>	<p>この路線の利用者は、主に高齢者であり、高齢者が市中心部の病院への通院、買い物に出かけるための路線となっている。今後は高齢利用者の利便性向上と新たな高齢利用者の獲得のため、利用促進策や情報提供に努めていきたい。</p>
新城市 塩瀬線 (地域内フィーダー系統)	上島田 ~大海駅・玖老勢	<ul style="list-style-type: none"> <li>・路線を守り育てる会を開催し、地域との協議を行った。</li> <li>・守り育てる会との協議を踏まえて、ダイヤ及び経路の変更を実施した。</li> <li>・バスマップを各戸配布し、利用促進を図った。</li> <li>・利用者の声を聞くため、実際にバスに乗り込み、満足度調査を行った。</li> </ul>	<p>A</p> <p>中学生の毎日の通学の足として、また高齢者の通院や買物の足として適切に運行ができた。また、他の路線との接続を考慮し、市中心部への利便性を確保することができた。</p>	<p>B</p> <p>①利用者数(子供利用を除く) 目標1,656人/実績1,397人 →達成度84%</p> <p>②収支率 目標3.52%/実績2.18% →達成度62%</p> <p>③利用者の満足度 目標1.17/実績1.07 →達成度(基準値1.0との差 +0.07)</p> <hr/> <p>・主たる利用者 中学生、高齢者 ・利用者数の推移(対29年度比) (子供利用除く) 1,397人(30年度)-1,505人(29年度)・・・▲108人 (総 数) 2,722人(30年度)-2,494人(29年度)・・・228人</p>	<p>30年4月に守り育てる会との協議を踏まえて、ダイヤ及び経路の見直しを行った。今後も、引き続き守り育てる会も開催しながら、沿線住民が利用しやすい路線となるよう検討を進めていく。</p>
新城市 つくであしがる線 (地域内フィーダー系統)	診療所~診療所 (曜日ごと路線が異なる循環運行)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公共交通に関する市民ワークショップを開催し、地域住民との協議を行った。</li> <li>・バスマップを各戸配布し、利用促進を図った。</li> <li>・利用者の声を聞くため、実際にバスに乗り込み、満足度調査を行った。</li> </ul>	<p>A</p> <p>各集落の生活を維持するために欠かせない路線であり、地域の生活を支えるための運行を実施することができた。</p>	<p>B</p> <p>①利用者数 目標1,006人/実績1,016人→達成度101%</p> <p>②収支率 目標2.47%/実績2.04% →達成度83%</p> <p>③利用者の満足度 目標1.20/実績1.16 →達成度(基準値1.0との差 +0.16)</p> <hr/> <p>・主たる利用者 高齢者 ・利用者数の推移(対29年度比) (総 数) 1,016人(30年度)-971人(29年度)・・・45人</p>	<p>今年度は、公共交通に関する市民ワークショップを開催し、路線の再編についての協議を行った。そのワークショップで出たデマンド運行への再編に向けて、準備を進めていく。</p>

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況 ①利用者数 ②収支率 ③利用者の満足度(1.0を基準値(普通)とし、0.8~1.2の間で数値が高いほど満足度が高い)の3項目で評価	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
新城市 中宇利線	新城東高校 ~小畑	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域住民を対象にバスの乗り方教室を実施した。</li> <li>・バスマップを各戸配布し、利用促進を図った。</li> <li>・利用者の声を聞くため、実際にバスに乗り込み、満足度調査を行った。</li> </ul>	A 計画どおり事業は適切に実施された。	①利用者数(子供利用を除く) 目標16,070人/実績13,337人→達成度83% ②収支率 目標10.52%/実績10.45% →達成度99% ③利用者の満足度 目標1.14/実績1.10 →達成度(基準値1.0との差 +0.10) ・主たる利用者 小学生、高齢者 ・利用者数の推移(対29年度比) (子供利用除く) 13,337人(30年度)-13,896人(29年度)・・・▲559人 (総数) 44,117人(30年度)-46,116人(29年度)・・・▲1,999人	小学生の輸送が主な利用目的となっており、一般の利用者数は全体の30%程度となっている。30年度は高齢者の利用が減少しているため、バスマップ配布を始めとした利用促進策・情報提供に努め、通院・買物に便利な路線としていく。
新城市 吉川市川線	新城市民病院 ~市川	<ul style="list-style-type: none"> <li>・バスマップを各戸配布し、利用促進を図った。</li> <li>・利用者の声を聞くため、実際にバスに乗り込み、満足度調査を行った。</li> </ul>	A 計画どおり事業は適切に実施された。	①利用者数(子供利用を除く) 目標3,521人/実績2,552人→達成度72% ②収支率 目標3.31%/実績3.35% →達成度101% ③利用者の満足度 目標1.18/実績1.20 →達成度(基準値1.0との差 +0.20) ・主たる利用者 小学生、高齢者 ・利用者数の推移(対29年度比) (子供利用除く) 2,552人(30年度)-2,834人(29年度)・・・▲282人 (総数) 8,312人(30年度)-9,134人(29年度)・・・▲822人	小学生の輸送が主な利用目的となっており、一般の利用者数は全体の30%程度となっている。30年度は高齢者の利用が減少しているため、引き続きバスマップ配布を始めとした利用促進策・情報提供に努め、通院・買物に便利な路線としていく。
豊鉄タクシー株式会社 北部線	緑が丘 ~新城郵便局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・沿線小学生の通学に合わせたダイヤ変更を実施した。</li> <li>・バスマップを各戸配布し、利用促進を図った。</li> <li>・利用者の声を聞くため、実際にバスに乗り込み、満足度調査を行った。</li> </ul>	A 計画どおり事業は適切に実施された。	①利用者数(子供利用を除く) 目標4,203人/実績3,247人→達成度77% ②収支率 目標7.40%/実績5.52% →達成度75% ③利用者の満足度 目標1.11/実績1.10 →達成度(基準値1.0との差 +0.10) ・主たる利用者 小学生、高齢者 ・利用者数の推移(対29年度比) (子供利用除く) 3,247人(30年度)-3,555人(29年度)・・・▲308人 (総数) 6,386人(30年度)-6,711人(29年度)・・・▲325人	平成30年度は沿線小学生の通学に合わせたダイヤ変更を実施した。市中心部へアクセス可能な路線であり、鳳来北西部からの乗り継ぎ利用者も見られる。乗り継ぎ可能である塩瀬線のPRを行い、高齢者の通院等によるバス利用者の新規獲得を目指す。
新城市 秋葉七滝線	本長篠 ~向久保	<ul style="list-style-type: none"> <li>・路線を守り育てる会を開催し、地域との協議を行った。</li> <li>・守り育てる会との協議結果を踏まえて、ダイヤ変更を実施した。</li> <li>・バスマップを各戸配布し、利用促進を図った。</li> <li>・利用者の声を聞くため、実際にバスに乗り込み、満足度調査を行った。</li> </ul>	A 計画どおり事業は適切に実施された。	①利用者数(子供利用を除く) 目標2,627人/実績1,553人→達成度59% ②収支率 目標5.69%/実績2.50% →達成度44% ③利用者の満足度 目標1.20/実績1.14 →達成度(基準値1.0との差 +0.14) ・主たる利用者 小中学生、高齢者 ・利用者数の推移(対29年度比) (子供利用除く) 1,553人(30年度)-1,601人(29年度)・・・▲48人 (総数) 8,032人(30年度)-8,950人(29年度)・・・▲918人	30年4月に守り育てる会との協議を踏まえて、ダイヤ及び経路の見直しを行った。今後も、引き続き守り育てる会も開催しながら、沿線住民が利用しやすい路線となるよう検討を進めていく。

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況 ①利用者数 ②収支率 ③利用者の満足度(1.0を基準値(普通)とし、0.8~1.2の間で数値が高いほど満足度が高い)の3項目で評価	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
新城市 布里田峯線	<p>玖老勢 ～稲目トンネル口</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・路線を守り育てる会を開催し、地域との協議を行った。</li> <li>・守り育てる会との協議結果を踏まえて、ダイヤ変更を実施した。</li> <li>・バスマップを各戸配布し、利用促進を図った。</li> <li>・利用者の声を聞くため、実際にバスに乗り込み、満足度調査を行った。</li> </ul>	<p>A 計画どおり事業は適切に実施された。</p>	<p>①利用者数(子供利用を除く) 目標403人/実績598人→達成度148%</p> <p>②収支率 目標1.01%/実績1.21% →達成度120%</p> <p>③利用者の満足度 目標1.12/実績1.08 →達成度(基準値1.0との差 +0.08)</p> <hr/> <p>・主たる利用者 小中学生、高齢者 ・利用者数の推移(対29年度比) (子供利用除く) 598人(30年度)-778人(29年度)・・・▲180人 (総 数) 4,197人(30年度)-4,384人(29年度)・・・▲187人</p>	<p>30年4月に守り育てる会との協議を踏まえて、ダイヤの見直しを行った。今後も、引き続き守り育てる会も開催しながら、沿線住民が利用しやすい路線となるよう検討を進めていく。</p>
新城市 長篠山吉田線	<p>本長篠～ 郷ヶ平～田沢</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・バスマップを各戸配布し、利用促進を図った。</li> <li>・市民団体との公共交通意見交換会を実施した。</li> <li>・利用者の声を聞くため、実際にバスに乗り込み、満足度調査を行った。</li> </ul>	<p>A 計画どおり事業は適切に実施された。</p>	<p>①利用者数(子供利用を除く) 目標2,116人/実績2,644人→達成度125%</p> <p>②収支率 目標4.44%/実績3.39% →達成度76%</p> <p>③利用者の満足度 目標1.09/実績1.00 →達成度(基準値1.0との差 0)</p> <hr/> <p>・主たる利用者 小中学生、高齢者 ・利用者数の推移(対29年度比) (子供利用除く) 2,644人(30年度)-2,528人(29年度)・・・116人 (総 数) 14,001人(30年度)-14,930人(29年度)・・・▲929人</p>	<p>主な利用者は鳳来中部小学校、鳳来中学校の児童生徒だが、通院・買物・通勤を目的とした一般利用者もいる。利用者の多くは本長篠BTを経由して新城方面を目的地とするが、竹平バス停から遠鉄バス渋川線を利用することで、浜松市中心部との往復が可能となる。今年度は市民団体との意見交換会を開催した。今後もこうした団体と協議をしながら、沿線住民が利用しやすい路線となるよう検討を進めていく。</p>
新城市 四谷千枚田新城線 (豊鉄バス(株)路線)	<p>本長篠 ～四谷千枚田口</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・バスマップを各戸配布し、利用促進を図った。</li> <li>・利用者の声を聞くため、実際にバスに乗り込み、満足度調査を行った。</li> </ul>	<p>A 計画どおり事業は適切に実施された。</p>	<p>①利用者数 目標6,319/実績11,101→達成度176%</p> <p>③利用者の満足度 目標1.06/実績1.03→達成度(基準値1.0との差 +0.03)</p> <hr/> <p>・主たる利用者 小中学生 ・利用者数の推移(対29年度比) (総 数) 11,101人(30年度)-9,550人(29年度)・・・1,551人</p>	<p>28年4月に四谷千枚田新城線とし、四谷地区の中学生及び高齢者の利便性向上を図った。観光地である四谷の千枚田付近にバス停を設置したので、観光客への周知を図り、利用者増につなげる。</p>
新城市 作手線	<p>新城富永 ～作手高里</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公共交通に関する市民ワークショップを開催し、地域住民との協議を行った。</li> <li>・バスマップを各戸配布し、利用促進を図った。</li> <li>・利用者の声を聞くため、実際にバスに乗り込み、満足度調査を行った。</li> <li>・沿線高校へのアンケート調査を実施した。</li> </ul>	<p>A 計画どおり事業は適切に実施された。</p>	<p>①利用者数 目標44,639人/実績48,740人→達成度109%</p> <p>②収支率 目標28.87%/実績28.87% →達成度100%</p> <p>③利用者の満足度 目標1.03/実績0.98 →達成度(基準値1.0との差 -0.02)</p> <hr/> <p>・主たる利用者 高校生、高齢者 ・利用者数の推移(対29年度比) (総 数) 48,740人(30年度)-46,062人(29年度)・・・2,678人</p>	<p>今年度は、公共交通に関する市民ワークショップを開催し、路線についての協議を行った。そのワークショップで出た意見及び高校との協議を基に各種の施策を実施していく。</p>
新城市 守義線	<p>鳴沢橋 ～診療所前</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公共交通に関する市民ワークショップを開催し、地域住民との協議を行った。</li> <li>・バスマップを各戸配布し、利用促進を図った。</li> <li>・利用者の声を聞くため、実際にバスに乗り込み、満足度調査を行った。</li> </ul>	<p>A 計画どおり事業は適切に実施された。</p>	<p>①利用者数(子供利用を除く) 目標2,304人/実績2,620人→達成度114%</p> <p>②収支率 目標4.21%/実績2.96% →達成度70%</p> <p>③利用者の満足度 目標1.15/実績1.14 →達成度(基準値1.0との差 +0.14)</p> <hr/> <p>・主たる利用者 中学生、高齢者 ・利用者数の推移(対29年度比) (子供利用除く) 2,620人(30年度)-2,545人(29年度)・・・75人 (総 数) 5,261人(30年度)-5,334人(29年度)・・・▲73人</p>	<p>今年度は、公共交通に関する市民ワークショップを開催し、路線の再編についての協議を行った。そのワークショップで出たデマンド運行への再編に向けて、準備を進めていく。</p>